

科目名	動物外科看護学実習Ⅲ	担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)	年次・学期	1年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(2)
概要	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、2年間で学んだ手技を正確さと迅速さを持って実践的に行うことができる実力を身に着ける				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	%			
	レポート	20%			
	出席状況	20%			
	授業進行	講義テーマ			
	1 術前準備 応用 1	手術器具の準備、滅菌			
	2 術前準備 応用 2	手術衣、タオル、ドレープ類の準備、滅菌			
	3 術前準備 応用 3	手洗い、手術衣や手袋の装着			
	4 術中補助 応用 1	麻酔器の各部名称			
	5 術中補助 応用 2	麻酔器の使用法を理解			
	6 術中補助 応用 3	モニター機器(心電図、血圧計など)			
	7 術中補助 応用 4	術中管理について			
	8 術中補助 応用 3	麻酔記録作成時の注意点			
	9 術中補助 応用 4	麻酔記録の作成			
	10 術中補助 応用 5	直接補助(器械の受渡しなど)			
	11 術中補助 応用 6	間接補助(無影灯、保温マットの操作など)			
	12 術中補助 応用 7	歯科器具の取扱い			
	13 術中補助 応用 8	歯科処置(歯石除去など)の補助			
	14 総括 1	まとめ			
	15 総括 2	まとめ			

	講義テーマ	講義内容
授業進行	16 術後管理 応用 1	術後創傷管理①
	17 術後管理 応用 2	術後創傷管理②
	18 術後管理 応用 3	包帯管理①
	19 術後管理 応用 4	包帯管理②
	20 術後管理 応用 5	抜糸補助
	21 術後管理 応用 6	抜糸時の保定方法
	22 救急救命 応用①	必要な機材、薬剤の種類
	23 救急救命 応用①	準備
	24 救急救命 応用②	気管挿管補助
	25 救急救命 応用②	気管挿管時の保定方法
	26 救急救命 応用③	心肺蘇生(人工呼吸、心マッサージ)の手順①
	27 救急救命 応用④	心肺蘇生(人工呼吸、心マッサージ)の手順②
	28 総括	まとめ
	29 総括	まとめ
	30 総括	まとめ

科目名	動物内科看護学実習Ⅲ	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)	年次・学期	1年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(15)	時間(単位)	60(2)
概要	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
	授業進行	講義テーマ			
	1 輸液・輸血に関わる技術 1	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助ができる ①			
	2 輸液・輸血に関わる技術 2	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助ができる ②			
	3 輸液・輸血に関わる技術 3	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助ができる ③			
	4 輸液・輸血に関わる技術 4	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助ができる ④			
	5 輸液・輸血に関わる技術 5	輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる ①			
	6 輸液・輸血に関わる技術 6	輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる ②			
	7 輸液・輸血に関わる技術 7	輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる ③			
	8 輸液・輸血に関わる技術 8	輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる ④			
	9 輸液・輸血に関わる技術 9	輸液・輸血中の動物を管理できる ①			
	10 輸液・輸血に関わる技術 10	輸液・輸血中の動物を管理できる ②			
	11 マイクロチップに関わる技術 1	マイクロチップの適切な挿入部位について理解する			
	12 マイクロチップに関わる技術 2	マイクロチップの適切な挿入部位について理解する			
	13 マイクロチップに関わる技術 3	マイクロチップ装着手順を習得している			
	14 マイクロチップに関わる技術 4	マイクロチップ装着手順を習得している			
	15 総括	まとめ			

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	生体検査 1	心電図検査を実施し、結果を記録できる
	17	生体検査 2	心電図検査を実施し、結果を記録できる
	18	生体検査 3	X線撮影のための基本的な保定ができる
	19	生体検査 4	X線撮影のための基本的な保定ができる
	20	生体検査 5	放射線防御のための装備を正しく扱える
	21	生体検査 6	超音波検査のための基本的な保定ができる
	22	生体検査 7	超音波検査のための基本的な保定ができる
	23	生体検査 8	神経学的検査の所見を記録できる
	24	生体検査 9	神経学的検査の所見を記録できる
	25	生体検査 10	眼科検査(シルマー試験、フルオレセイン試験、眼底検査など)の補助ができる
	26	生体検査 11	眼科検査(シルマー試験、フルオレセイン試験、眼底検査など)の補助ができる
	27	生体検査 12	皮膚検査(搔爬試験、スタンプ検査、被毛検査など)の補助ができる
	28	生体検査 13	皮膚検査(搔爬試験、スタンプ検査、被毛検査など)の補助ができる
	29	生体検査 14	外耳道検査の補助ができる
	30	生体検査 15	外耳道検査の補助ができる

科目名	看護グルーミング応用実習	担当講師 (実務経験)	長崎 幸恵・有壁 和 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)	年次・学期	2年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(30) 後期(30)	時間(単位)	120(4)
概要	動物看護師としてのグルーミング応用				
テキスト等	トリミング実習器具				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	%			
	レポート	20%			
	出席状況	20%			
	授業進行				
	1	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 1		
	2	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 2		
	3	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 3		
	4	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 4		
	5	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 5		
	6	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 6		
	7	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 7		
	8	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 8		
	9	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 9		
	10	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 10		
	11	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 11		
	12	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 12		
	13	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 13		
	14	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 14		
	15	看護グルーミング応用 ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 15		

	講義テーマ	講義内容
授業進行	16 看護グルーミング応用ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 16
	17 看護グルーミング応用ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 17
	18 看護グルーミング応用ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 18
	19 看護グルーミング応用ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 19
	20 看護グルーミング応用ステップ1	個体の特徴や年齢を考慮した技法 20
	21 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 1
	22 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 2
	23 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 3
	24 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 4
	25 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 5
	26 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 6
	27 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 7
	28 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 8
	29 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 9
	30 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 10
	31 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 11
	32 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 12
	33 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 13
	34 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 14
	35 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 15
	36 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 16
	37 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 17
	38 看護グルーミング応用ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 18

	講義テーマ	講義内容
授業進行	39 看護グルーミング応用 ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 19
	40 看護グルーミング応用 ステップ2	時間配分、時間短縮を考慮した技法 20
	41 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 1
	42 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 2
	43 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 3
	44 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 4
	45 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 5
	46 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 6
	47 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 7
	48 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 8
	49 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 9
	50 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 10
	51 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 11
	52 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 12
	53 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 13
	54 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 14
	55 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 15
	56 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 16
	57 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 17
	58 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 18
59 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 19	
60 看護グルーミング応用 ステップ3	総仕上げ 20	

科目名	適正飼養指導論		担当講師 (実務経験)	名取 裕憲 有■ 無□		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)		年次・学期	1年 ( □前期 ・ ■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
教育の狙い	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛玩管理行政の仕組みについて理解する					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	愛玩動物の飼養 1	愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する・愛玩動物飼養の現状について理解する・愛玩動物飼養によって人間が受ける影響と問題点について理解する			
	2	愛玩動物の飼養 2	愛玩動物の飼養のニーズや目的を理解するとともに、グリーフケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情を理解し、必要な支援について理解する			
	3	適正飼養の推進 1	適正飼養に関する支援の目的と活動(民間団体等によるものを含む)について理解する			
	4	適正飼養の推進 2	動物取扱業者における適正飼養について理解する			
	5	適正飼養の推進 3	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する			
	6	適正飼養の推進 4	問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する			
	7	災害危機管理と支援 1	災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる			
	8	災害危機管理と支援 2	愛玩動物とその飼い主の災害の備えについて理解し、説明できる			
	9	災害危機管理と支援 3	災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する			
	10	動物愛護管理行政 1	飼い主指導の基盤として、公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する			
	11	動物愛護管理行政 2	動物愛護週間の役割と実施状況について理解する			
	12	動物愛護管理行政 3	犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況について理解する			
	13	動物愛護管理行政 4	動物による事故の内容と報告状況について理解する			
	14	動物愛護管理行政 5	動物愛護管理センターの活動及び動物介護推進員・協議会の役割について理解する			
15	動物愛護管理行政 6	動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する				



科目名	家庭犬適正飼養実習		担当講師 (実務経験)	名取 裕憲 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)		年次・学期	1年 ( <input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(1)
教育の狙い	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法		評価割合(%)			
	定期試験		60%			
	小テスト・技術力・作品		20%			
	授業態度					
	レポート		%			
出席状況		20%				
授業進行		講義テーマ		講義内容		
	1	動物の基本的な取扱い ①	動物種に応じた安全なハンドリングができる ①			
	2	動物の基本的な取扱い ②	動物種に応じた安全なハンドリングができる ②			
	3	動物の基本的な取扱い ③	動物を安全に散歩・運動させることができる			
	4	動物の基本的な取扱い ④	犬の散歩や運動、ふれあいのために、適切な道具(首輪、胴輪、リード、おもちゃなど)を選択することができる			
	5	動物の基本的な取扱い ⑤	動物の飼養環境を適切に整備できる			
	6	飼い主とのコミュニケーション①	犬や猫の品種に応じた特徴について説明できる			
	7	飼い主とのコミュニケーション②	動物の適切な飼養方法(飼養環境、散歩方法、基本的なしつけなどを含む)について指導できる ①			
	8	飼い主とのコミュニケーション③	動物の適切な飼養方法(飼養環境、散歩方法、基本的なしつけなどを含む)について指導できる ②			
	9	飼い主とのコミュニケーション④	飼い主が法令に基づき厳守すべき対応について指導できる			
	10	飼い主とのコミュニケーション⑤	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援を説明できる			
	11	飼い主とのコミュニケーション⑥	避難所等災害時の飼い主への支援を説明できる			
	12	動物愛護管理行政 ①	動物愛護管理センターの活動を理解する			
	13	動物愛護管理行政 ②	動物取扱業へ指導すべき内容について理解する			
	14	動物愛護管理行政 ③	動物取扱業における顧客等への対応について実践することができる			
15	総括	まとめ				

科目名	動物看護総合実習Ⅲ		担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有■ 無□		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)		年次・学期	2年 ( ■前期・□後期 )		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 ■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(50) 後期(-)	時間(単位)	100(3)	
概要	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	実習先での評価を基に総合的に評価 実習前オリエンテーションの実施 施設により実習内容は変更になる場合があります			
	定期試験	%				
	小テスト・技術力・作品	%				
	レポート	50%				
	授業態度	30%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	動物病院実習	診察室における獣医療補助			
	2		入院動物の看護			
	3		各種検査や処置、外科手術の補助			
	4		飼い主との適切なコミュニケーション			
	5		1日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	6	動物病院実習	診察室における獣医療補助			
	7		入院動物の看護			
	8		各種検査や処置、外科手術の補助			
	9		飼い主との適切なコミュニケーション			
	10		1日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	11	動物病院実習	診察室における獣医療補助			
	12		入院動物の看護			
	13		各種検査や処置、外科手術の補助			
	14		飼い主との適切なコミュニケーション			
	15		1日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	16	動物病院実習	診察室における獣医療補助			
	17		入院動物の看護			
	18		各種検査や処置、外科手術の補助			
	19		飼い主との適切なコミュニケーション			
	20		1日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	21	動物病院実習	診察室における獣医療補助			
	22		入院動物の看護			
	23		各種検査や処置、外科手術の補助			
	24		飼い主との適切なコミュニケーション			
	25		1日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	26	動物病院実習	診察室における獣医療補助			
	27		入院動物の看護			
	28		各種検査や処置、外科手術の補助			
	29		飼い主との適切なコミュニケーション			
	30		1日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	31	動物病院実習	診察室における獣医療補助			
	32		入院動物の看護			
	33		各種検査や処置、外科手術の補助			
	34		飼い主との適切なコミュニケーション			
35	1日の振り返り(自宅にてレポート作成)					

		講義テーマ	講義内容
授業進行	36	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 1日の振り返り(自宅にてレポート作成)
	37		
	38		
	39		
	40		
	41	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 1日の振り返り(自宅にてレポート作成)
	42		
	43		
	44		
	45		
	46	動物病院実習	診察室における獣医療補助 入院動物の看護 各種検査や処置、外科手術の補助 飼い主との適切なコミュニケーション 1日の振り返り(自宅にてレポート作成)
	47		
	48		
	49		
	50		

科目名	愛玩動物看護師試験対策講座	担当講師 (実務経験)	池田 麻美・伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)	年次・学期	1年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(60) 後期(60)	時間(単位)	240(16)
概要	愛玩動物看護師国家試験合格を目指す				
テキスト等	(仮題)愛玩動物看護師国家試験問題集(緑書房・エデュワードプレス)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート				
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	基礎動物学 1	動物形態機能学①		
	2	基礎動物学 2	動物形態機能学②		
	3	基礎動物学 3	動物形態機能学③		
	4	基礎動物学 4	動物形態機能学④		
	5	国家試験対策問題 1	演習問題①		
	6	基礎動物学 5	動物繁殖学		
	7	基礎動物学 6	生命倫理、動物福祉		
	8	国家試験対策問題 2	演習問題②		
	9	基礎動物学 7	動物栄養学①		
	10	基礎動物学 8	動物栄養学②		
	11	基礎動物学 9	動物栄養学③		
	12	基礎動物学 10	動物栄養学④		
	13	国家試験対策問題 3	演習問題③		
	14	基礎動物学 10	動物看護関連法規①		
15	基礎動物学 11	動物看護関連法規②			

	講義テーマ	講義内容
授業進行	16 国家試験対策問題 4	演習問題④
	17 基礎動物看護学 1	動物看護学概論①
	18 基礎動物看護学 2	動物看護学概論②
	19 国家試験対策問題 5	演習問題⑤
	20 基礎動物看護学 3	動物病理学
	21 基礎動物看護学 4	動物薬理学
	22 国家試験対策問題 6	演習問題⑥
	23 基礎動物看護学 5	動物臨床看護学総論①
	24 基礎動物看護学 6	動物臨床看護学総論②
	25 基礎動物看護学 7	動物臨床看護学各論①
	26 基礎動物看護学 8	動物臨床看護学各論②
	27 基礎動物看護学 9	動物臨床看護学各論③
	28 基礎動物看護学 10	動物臨床看護学各論④
	29 基礎動物看護学 11	動物臨床看護学各論⑤
	30 基礎動物看護学 12	動物臨床看護学各論⑥
	31 試験対策 1	模擬試験①
	32 試験対策 2	模擬試験②
	33 試験対策 3	模擬試験③
	34 基礎動物看護学 1	動物臨床検査学実習①
	35 基礎動物看護学 2	動物臨床検査学実習②
36 基礎動物看護学 3	動物臨床検査学実習③	
37 基礎動物看護学 4	動物臨床検査学実習④	
38 国家試験対策問題 1	演習問題①	

	講義テーマ	講義内容
授業進行	39 国家試験対策問題 2	演習問題②
	40 基礎動物看護学 5	動物医療コミュニケーション
	41 愛玩・適性飼養学 1	愛玩動物学①
	42 愛玩・適性飼養学 2	愛玩動物学②
	43 愛玩・適性飼養学 3	人と動物の関係学
	44 国家試験対策問題 3	演習問題③
	45 国家試験対策問題 4	演習問題④
	46 実習 1	動物形態機能学実習①
	47 実習 2	動物形態機能学実習②
	48 実習 3	動物形態機能学実習③
	49 実習 4	動物形態機能学実習④
	50 実習 5	動物形態機能学実習⑤
	51 実習 6	動物形態機能学実習⑥
	52 国家試験対策問題 5	演習問題⑤
	53 実習 7	動物内科看護学実習①
	54 実習 8	動物内科看護学実習②
	55 実習 9	動物内科看護学実習③
	56 実習 10	動物内科看護学実習④
	57 実習 11	動物内科看護学実習⑤
	58 国家試験対策問題 6	演習問題⑥
	59 実習 12	動物外科看護学実習①
	60 実習 13	動物外科看護学実習②
61 実習 14	動物外科看護学実習③	
62 実習 15	動物外科看護学実習④	

	講義テーマ		講義内容
	63	実習 16	動物外科看護学実習⑤
授業進行	64	実習 17	動物外科看護学実習⑥
	65	国家試験対策問題 7	演習問題⑦
	66	国家試験対策問題 8	演習問題⑧
	67	実習 17	動物臨床看護学実習①
	68	実習 18	動物臨床看護学実習②
	69	実習 19	動物臨床看護学実習③
	70	実習 20	動物臨床看護学実習④
	71	国家試験対策問題 9	演習問題⑨
	72	国家試験対策問題 10	演習問題⑩
	73	国家試験対策問題 11	実践問題①
	74	国家試験対策問題 12	実践問題②
	75	国家試験対策問題 13	実践問題③
	76	国家試験対策問題 14	実践問題④
	77	国家試験対策問題 15	実践問題⑤
	78	国家試験対策問題 16	実践問題⑥
	79	国家試験対策問題 17	実践問題⑦
	80	国家試験対策問題 18	実践問題⑧
	81	国家試験対策問題 19	実践問題⑨
	82	国家試験対策問題 20	実践問題⑩
	83	国家試験対策問題 21	演習問題⑪
	84	国家試験対策問題 22	演習問題⑫
	85	国家試験対策問題 23	演習問題⑬

	講義テーマ	講義内容
授業進行	86 国家試験対策問題 24	演習問題⑭
	87 国家試験対策問題 25	演習問題⑮
	88 国家試験対策問題 26	演習問題⑯
	89 国家試験対策問題 27	演習問題⑰
	90 国家試験対策問題 28	演習問題⑱
	91 国家試験対策問題 29	演習問題⑲
	92 国家試験対策問題 30	演習問題⑳
	93 試験対策 4	模擬試験④
	94 試験対策 5	模擬試験⑤
	95 試験対策 6	模擬試験⑥
	96 試験対策 7	模擬試験⑦
	97 試験対策 8	模擬試験⑧
	98 試験対策 9	模擬試験⑨
	99 試験対策 10	模擬試験⑩
	100 試験対策 11	模擬試験⑪
	101 試験対策 12	模擬試験⑫
	102 試験対策 13	模擬試験⑬
	103 試験対策 14	模擬試験⑭
	104 試験対策 15	模擬試験⑮
	105 試験対策 16	模擬試験⑯
106 試験対策 17	模擬試験⑰	
107 試験対策 18	模擬試験⑱	
108 試験対策 19	模擬試験⑲	



		講義テーマ	講義内容
授業進行	109	試験対策 20	模擬試験⑩
	110	試験対策 21	模擬試験⑪
	111	試験対策 22	模擬試験⑫
	112	試験対策 23	模擬試験⑬
	113	試験対策 24	模擬試験⑭
	114	試験対策 25	模擬試験⑮
	115	試験対策 26	模擬試験⑯
	116	試験対策 27	模擬試験⑰
	117	試験対策 28	模擬試験⑱
	118	試験対策 29	模擬試験⑲
	119	試験対策 30	模擬試験⑳
	120	試験対策 31	模擬試験㉑

科目名	ペット関連産業概論		担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)		年次・学期	1年 ( <input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
概要	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
	授業進行	講義テーマ				
	1	ペット関連産業における職業倫理 1	責任と社会的役割			
	2	ペット関連産業における職業倫理 2	商取引における関連法規			
	3	ペット関連産業における職業倫理 3	動物愛護管理法にもとづく事前説明			
	4	ペットの飼養実態と市場規模 1	ペットの飼育実態			
	5	ペットの飼養実態と市場規模 2	ペット関連産業の概要と市場規模			
	6	ペットの飼養実態と市場規模 3	ペット関連産業全体の市場規模			
	7	各ペット関連産業の現状と課題 1	ペット産業の分類			
	8	各ペット関連産業の現状と課題 2	動物病院の現状			
	9	各ペット関連産業の現状と課題 3	動物病院以外のサービス業の現状			
	10	各ペット関連産業の現状と課題 4	生体販売業の現状			
	11	各ペット関連産業の現状と課題 5	ペットショップの現状			
	12	各ペット関連産業の現状と課題 6	その他ペット産業の現状			
	13	動物取扱業 1	動物取扱業制度の概要			
	14	動物取扱業 2	動物取扱責任者として業務実施するために必要な実践的知識			
	15	動物取扱業 3	動物取扱責任者として必要な実践的知識と動物の取扱方法や衛生管理に関わる手法			

科目名	動物生活環境学	担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有■ 無□		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)	年次・学期	1年 ( □前期 ・ ■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	飼養環境整備 1	動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法		
	2	飼養環境整備 2	ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法		
	3	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 1	ペットツーリズムの現状と実施方法		
	4	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 2	ペット同伴宿泊ホテルの環境整備・管理の方法		
	5	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 3	ドッグランの環境整備・管理の方法		
	6	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 4	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興		
	7	保護収容施設 1	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理の方法、シェルターメディスン		
	8	保護収容施設 2	動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓発活動		
	9	ペットへの教育・訓練施設	動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等		
	10	動物介在教育施設	学校飼育動物等の施設の環境整備・管理の方法		
	11	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 1	飼育マナーの必要性や目的		
	12	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 2	飼育マナーの歴史、地域における飼育マナーの違い		
	13	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 3	地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種の条例		
	14	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 4	愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナー		
15	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 5	ペット保険の仕組みと実態			

科目名	動物臨床看護学実習Ⅲ	担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)	年次・学期	2年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )			
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)	後期(15)	時間(単位)	60(2)
概要	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	動物看護過程の実践 1	動物看護アプローチの個別性①			
	2	動物看護過程の実践 2	動物看護アプローチの個別性②			
	3	動物看護過程の実践 3	看護動物の生活環境(家族を含む)が健康に及ぼす影響			
	4	動物看護過程の実践 4	症状や入院・治療が看護動物と家族に及ぼす影響			
	5	動物看護過程の実践 5	看護動物の看護上の問題①			
	6	動物看護過程の実践 6	看護動物の看護上の問題②			
	7	動物看護過程の実践 7	看護動物の援助の内容・方法を立案①			
	8	動物看護過程の実践 8	看護動物の援助の内容・方法を立案②			
	9	動物看護過程の実践 9	動物看護計画の作成①			
	10	動物看護過程の実践 10	動物看護計画の作成②			
	11	動物看護過程の実践 11	動物看護記録の作成①			
	12	動物看護過程の実践 12	動物看護記録の作成②			
	13	動物看護過程の実践 13	事例演習 ①			
	14	動物看護過程の実践 14	事例演習 ②			
15	動物看護過程の実践 15	事例演習 ③				

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	動物看護過程の実践 1	事例演習①
	17	動物看護過程の実践 2	事例演習②
	18	入院及び栄養管理 1	入院動物の管理①
	19	入院及び栄養管理 2	入院動物の管理②
	20	動物看護過程の実践 3	看護動物の援助の内容・方法を立案
	21	動物看護過程の実践 4	動物看護計画の作成
	22	動物看護過程の実践 5	動物看護記録の作成
	23	入院及び栄養管理 3	入院室内の管理・清掃①
	24	入院及び栄養管理 4	入院室内の管理・清掃②
	25	痛みの管理 1	ペインスケール
	26	痛みの管理 2	痛みのある動物の看護実践
	27	動物看護過程の実践 6	看護動物の援助の内容・方法を立案
	28	動物看護過程の実践 7	動物看護計画の作成
	29	動物看護過程の実践 8	動物看護記録の作成
	30	動物看護過程の実践 3	事例演習③

科目名	動物臨床検査学実習Ⅲ		担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護師専攻コース)		年次・学期	1年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(2)	
概要	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
	出席状況	20%				
科目名	動物臨床検査学実習Ⅲ		担当講師	池田 麻美		
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	振り返り	器具の名称、取り扱いと片付け方、医療廃棄物などの取り扱い			
	2	検体検査(血液検査) 1	検体採取・処理の手順を習得している(クイック染色)			
	3	検体検査(血液検査) 2	検体採取・処理の手順を習得している(ギムザ染色・グラム染色)			
	4	検体検査(血液検査) 3	検体採取・処理の手順を習得している(採血法、保定、血液の処理)			
	5	検体検査(血液検査) 4	マイクロピペットや遠心分離器を正しく操作			
	6	検体検査(血液検査) 5	血漿、血清を分離			
	7	検体検査(血液検査) 6	血液塗抹標本を作製、染色①			
	8	検体検査(血液検査) 7	血液一般検査(CBCの測定と正常値)			
	9	検体検査(血液検査) 8	生化学検査(腎機能・肝機能・膵機能・電解質など)①			
	10	検体検査(血液検査) 9	生化学検査(腎機能・肝機能・膵機能・電解質など)②			
	11	検体検査(尿検査) 1	尿検査を実施し、物理化学性状を記録①			
	12	検体検査(尿検査) 2	尿沈査を観察し、所見を記録①			
	13	検体検査(糞便検査) 1	糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出①			
	14	検体検査(糞便検査) 2	糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出②			
15	総括	まとめ				

	講義テーマ	講義内容
授業進行	16 振り返り	血液一般検査(CBCの測定と正常値など)
	17 検体検査(血液検査) 10	血液塗抹標本を作製、染色②
	18 検体検査(血液検査) 11	血液塗抹標本を作製、染色③
	19 検体検査(血液検査) 12	血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出
	20 検体検査(血液検査) 13	全血球計算及び血液化学検査を実施
	21 検体検査(血液検査) 14	簡易血清学的検査を実施
	22 検体検査(血液検査) 15	生化学検査①(腎機能・肝機能・膵機能・電解質など)③
	23 検体検査(血液検査) 16	生化学検査②腎機能・肝機能・膵機能・電解質など④
	24 検体検査(尿検査) 3	尿検査を実施し、物理化学性状を記録②
	25 検体検査(尿検査) 4	尿沈査を観察し、所見を記録②
	26 検体検査(糞便検査) 3	糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出③
	27 検体検査(糞便検査) 4	糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出④
	28 検体検査(細胞診) 1	細胞診の準備、補助①
	29 検体検査(細胞診) 2	細胞診の準備、補助②
30 総括	まとめ	

科目名	動物内科看護学実習Ⅲ	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	専攻科(動物看護コース)	年次・学期	3年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(-)	時間(単位)	30(1)
概要	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	%			
	レポート	20%			
	出席状況	20%			
	授業進行				
1		身体検査復習 1	全身状態(意識レベル、ボディコンディションスコア、粘膜色、浅在リンパ節、体重測定を含む)を評価できる		
2		身体検査復習 2	バイタルサインを評価できる(体温、脈拍数、呼吸数、毛細血管再充満時間(CRT)、股動脈圧)		
3		診察補助復習 1	診察の準備や診察室の衛生管理ができる		
4		診察補助復習 2	聴診器や体温計、注射器を適切に取り扱うことができる		
5		診察補助復習 3	採血・採尿(尿カテーテルの挿入を含む)の手順を習得している		
6		診察補助復習 4	薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順を習得している		
7		輸液・輸血に関わる技術復習 1	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助ができる		
8		輸液・輸血に関わる技術復習 2	輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる		
9		マイクロチップに関わる技術復習 1	マイクロチップの適切な挿入部位について理解する		
10		マイクロチップに関わる技術復習 2	マイクロチップ装着手順を習得している		
11		生体検査復習 1	心電図検査を実施し、結果を記録できる		
12		生体検査復習 2	X線撮影に関する手順を習得している		
13		生体検査復習 3	超音波検査のための基本的な保定ができる		
14		生体検査復習 4	眼科検査の補助ができる		
15	生体検査復習 5	皮膚検査、外耳道検査の補助ができる			



